ＥＳＤＧｓ通信102号20210219　手島利夫です

皆様、お久しぶりです。お元気でしょうか。

先日、静岡県川根本町のある校長先生から素晴らしい学校だよりを見せていただきました。

「私も学校だよりは書いていたけれど、ここまで洗練されていなかったなあ。」と思いながら、わが身を振り返り、自分が書いてきた学校だより巻頭言の整理をしてみようかと思い立ちました。

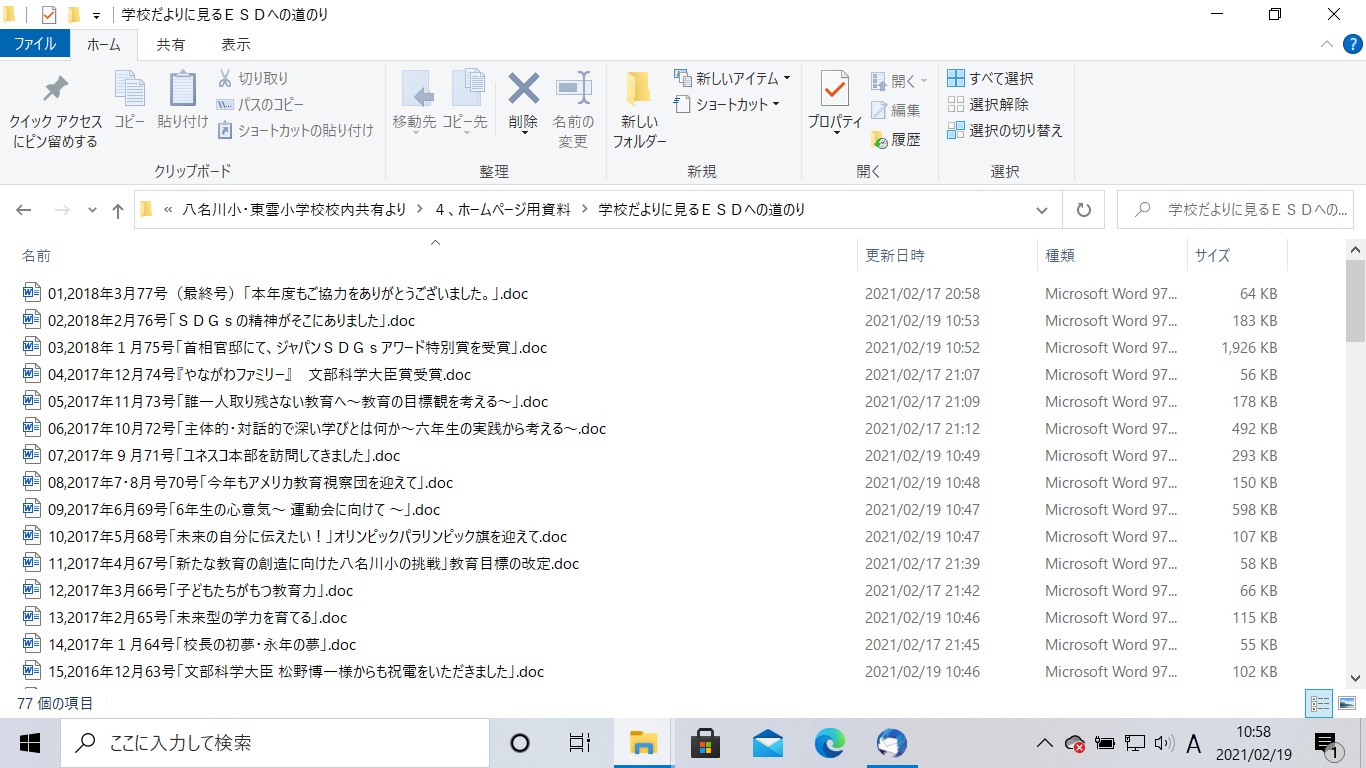
江東区立八名川小学校における8年間の巻頭言集

　江東区立八名川小学校は、東京の下町にあるちょっといい感じのする、ごく普通の小学校です。2010年（平成22年）4月、そこに平凡な校長、手島利夫が着任し、様々な方のお力添えをいただきながら、8年間の教育活動に取り組みました。

　その終わりに近づくにしたがって、ずいぶんと華々しいこともたくさんありましたが、学校だよりの巻頭言を逆順に遡っていくと、その一部が見えてきますし、「ＥＳＤの学校づくりってこんな方向性をもって、積み重ねていけばいいのね。」という安心感が伝わるかもしれないと思い、ホームページ上でも公開することにしました。ＥＳＤＧｓ通信では、5回に分けてお送りします。

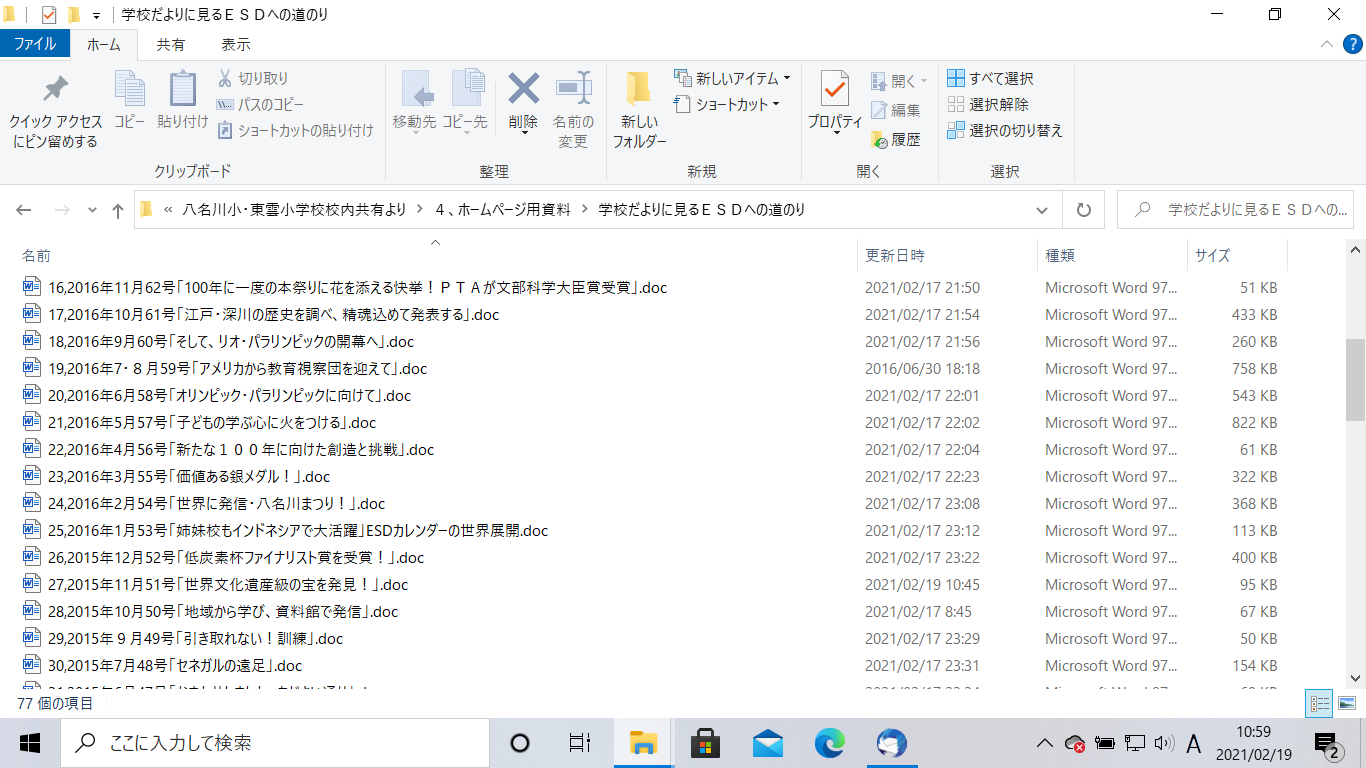
第1回送信分の目次です。ＰＤＦで一つにまとめてあります。毎回１０Ｍ以内に収めます。

**①2018年3月77号（最終号）から63号「松野文部科学大臣から祝電が…」までの１５通**

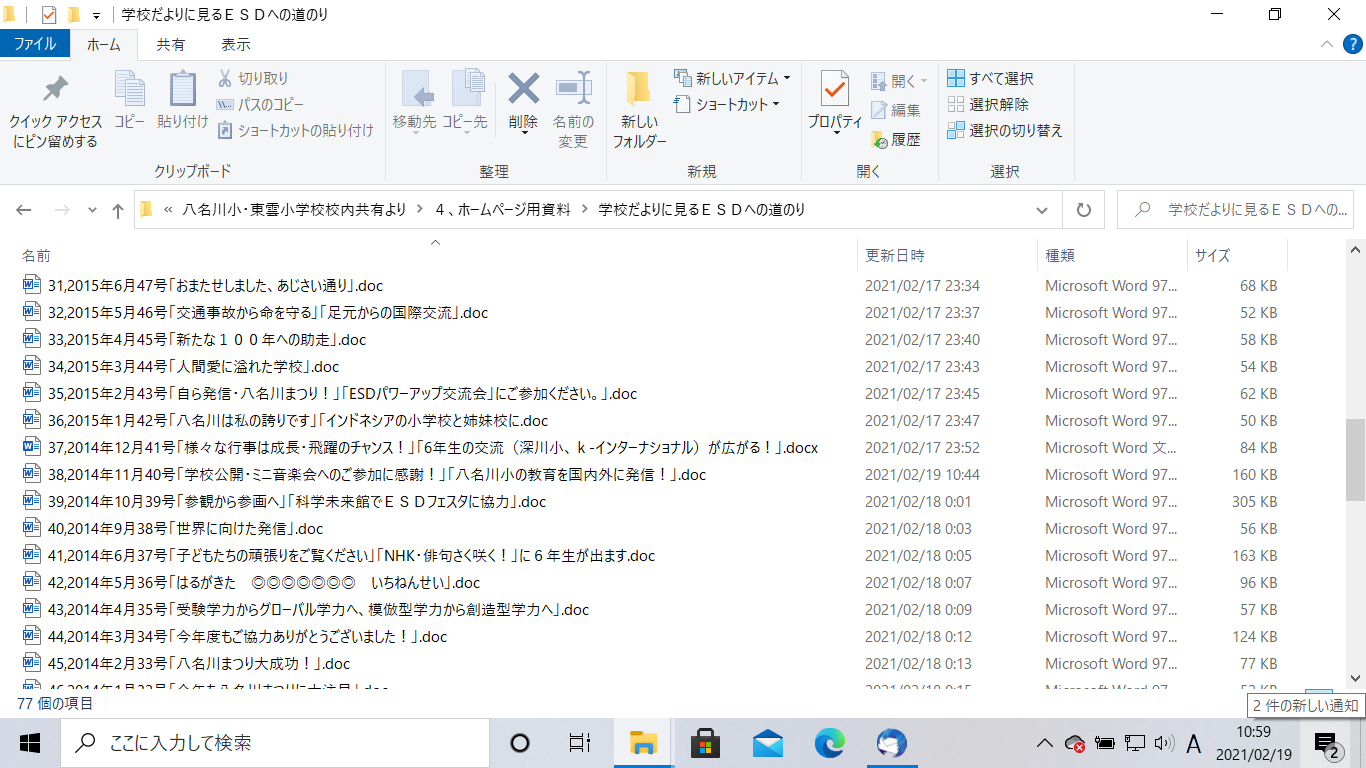


　八名川小学校最後の年の頃ですね。100周年を済ませ、これを機に教育を見直すという「名目」を立てて、ようやく学校の教育目標を改めたころです。遠慮しないでさっさと変えていればよかったのにと思いますが、「自分なんかが変えていいのだろうか」と、恐れも感じていたのです。本当に気が小さいですね。また、再任用校長職の終わりが近づくにつれて、めちゃくちゃに忙しくなり、またお伝えする内容がいろいろとあり過ぎて、**「**（八名川小）**学校発・ＥＳＤの学び」**という八名川小での実践史ともいえる本が出版されたこと（2017年12月）すら保護者や地域に紹介しそびれていました。

第2回（次回）送信分



第3回送信分



第4回送信分



第5回送信分

